

乳頭乳輪温存乳房切除術における乳頭体積と乳頭乳輪壊死の関連 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年10月6日承認～2022年3月31日

〔研究課題〕

乳頭乳輪温存乳房切除術における乳頭体積と乳頭乳輪壊死の関連

〔研究目的〕

乳頭体積と乳頭乳輪壊死の関連を解明し、乳頭乳輪温存乳房切除術における乳頭乳輪壊死のリスクを軽減することを目的とします。

〔研究意義〕

乳頭乳輪温存乳房切除術の合併症として乳頭乳輪壊死があり、整容性が低下してしまいます。乳頭乳輪壊死は局所の血流障害が原因とされており、肥満、喫煙、糖尿病等の基礎疾患、同時乳房再建等が危険因子であると報告されています。乳頭が大きい場合、手術による栄養血管の損傷の影響が大きく、乳頭乳輪壊死のリスクが高まると推測されますが、未だ解明されていません。この研究では乳頭体積と乳頭乳輪壊死の関連を解析します。

〔対象・研究方法〕

2016年1月1日から2019年12月31日までに当院で乳頭乳輪温存乳房切除術を施行した患者さんを対象に、診療録(乳頭乳輪壊死の有無を含む臨床データ、画像データ、病理検査)を参照し、データを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、匿名化を行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 神野浩光 帝京大学医学部 外科学講座 教授

研究分担者： 松本暁子 帝京大学医学部 外科学講座 助教

山田美紀 帝京大学医学部附属病院 シニアレジデント

梅本靖子 帝京大学医学部附属病院 シニアレジデント

塚原大裕 帝京大学医学部附属病院 シニアレジデント

鳴瀬祥 帝京大学医学部附属病院 シニアレジデント

磯野優花 帝京大学医学部附属病院 シニアレジデント

所属： 帝京大学医学部 外科学講座

住所： TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 33615]